

Amir Tsarfati 氏 中東情勢アップデート 2018年 6月 26日公開

(日本時間 6月27日午前4時～=イスラエル時間 6月26日午後10時～)

ガリラヤよりこんばんは。アミール・ツアルファティです。週に一度の中東情勢アップデートをお届けします。今日は、お伝えすることが盛りだくさんです。

まず、この数時間の間に起こったいくつかの事からお伝えします。

ただ、その前に一つ、皆さんに明確にしておくべき事があります。

先週、若者ツアーへの奨学金を25人に出すこととお伝えしたところ、1,000通近くのメールが私のところに届き、そのほとんどが大人で、若者ではありませんでした。これは、私たちの意図していたこととは違います。私たちは、次世代に投資したいのです。そのため、私たちがこの奨学金の対象にしているのは、18歳から28歳までです。私たちのところには、何百通というメールが届いていますので、これらに目を通して、対応して行きたいと思っています。

その他に、つい先日、2019年のイスラエルツアーの申し込み受け付けを開始しました。私たちはこれを「Bible Experience tour/聖書体験ツアー」と呼んでいます。私たちのツアーは、他のツアーとは全く異なります。それぞれ現地で聖書を教えるだけでなく——私もそのいくつかを教えます——それだけでなく、宿泊施設も最良のものをご用意しています。最良の食べ物、最良の経験です。イスラエルでの経験は、他の場所で経験できるツアーとは全く違うと、私たちは信じています。聖書が生き生きと見えてくるようになる。それが、私たちがこれを行う目的です。Behold Israel/ビホールド・イスラエル（見よ、イスラエルを。）。イスラエルを見ることで、あなたの中の何かが永遠に変わる、と私たちは信じています。座席が限られていますので、お申し込みはお早めをお願いします。ツアーは2月、2～3月、5月、10月、12月、詳細はウェブサイトをご覧ください。お申し込みはお早めに。そして皆さん、ぜひご参加ください。…私たちがもし、まだこの地上にいれば、ですが。(笑)

次に、ルーマニア語、ドイツ語、ポルトガル語のユーチューブチャンネルが数日のうちに出来上がります。さらに数週間以内に、フランス語版も出来上がります。本当に大きな祝福です。

では、情勢についてお話ししましょう。



Figure 1 イスラエルの戦闘機

まず昨夜、イスラエルはダマスカス近くの空港で、シリアに更なるロケットや武器を運び込んでいた、イランの貨物機数機を攻撃しました。イランのものでした。

皆さん、理解しておいてください。

イランは、シリアから手を引きたくないのです。

ロシアは、彼らに撤退するように求めましたが、彼らは立ち去っていません。

彼らはそこを出て、制服を着替えて、シリア兵のように装ってまた戻って行き、皆を欺いています。事実、イランはそこに留まることを願っていて、アサドも彼らがそこに留まることを願っています。アサドはロシアを信頼できません。ロシアは、自分たちの利益のためにシリアにいて、アサドはそれを理解しています。それから、非イスラムとイスラム連合の両方による、彼の警備と保護が、彼の保険証書であることも、彼は理解しています。ですから、ロシアがシリアにいて、おもに空からアサドを保護していることを、彼が気に入っ

ているのと同じくらい、地上でのイランの駐留も、彼にとってはうれしいのです。そして彼は、唯一イランだけが、実際に彼の兵士たちや彼の武器を、イスラエルの手から守ることが出来ると信じています。ということで、これが今起こっていることです。

次に、数週間前にお話したことが既に起こっています。シリア南部での、シリア人たちの攻撃です。ロシアの戦闘機が、現在、町を完全に破壊しています。面白いのは、——面白くはありませんが——ただ、全ての人権保護団体や国連も、町が完全に破壊されているのにもかかわらず、誰も一言も発しないのです。シリア南部で75万人が、現在殺害されているか、もしくは、彼らを惨殺しようとする、シーア派の脅威から逃げているのです。

それに関して、私たちは何か聞いていますか？

誰かがどこかで、それを非難するのを聞きましたか？

国連の人権委員会が何か言うのを聞きましたか？

もちろん、聞いていませんよ！

それについて、一切聞くことはありません。

彼らには、それは構わないのです。

もし、イスラエルが何かを行えば、世は何かを言いますが、それがイスラエルでない限り、何も言わなくても良いのです。

ということで、攻撃が起こっていますが、これはイスラエルにとって脅威です。

皆さん、理解しておいてください。

アサドの兵士は、ほぼ全滅です。

シリア兵士の核の部分は、もはやありません。

そこで、アサドは今では自分の軍隊を、イラン人やイランの代理で埋めているのです。ですから、「“シリアの軍隊”が、イスラエルの国境に向かっていて」と見聞きする時、我々にとってそれはシリアの軍隊ではなく、それはイランの代理です。そして、イスラエルはそれを決してさせないことを決意しています。また、イスラエルの防衛大臣が今日、マティス長官に電話をして、それについて話をしました。



Figure 2 リーベルマン イスラエル国防大臣 (左)
とマティス米国防長官 (右)

私たちは皆、それについて危惧しています。

興味深いのは、昨年、アメリカとロシアは、南シリアの不可侵協定に調印しています。別の言い方をすれば、この地域では誰も軍隊を使わず、あちらで起こっている戦争を支援しない、というものです。それが今日、ロシアは「あの協定は、昔のものだ」と発表し、爆撃を始めました。これで皆さんにも、中東での協定とはどの程度のものか、お分かりになられたでしょう。アメリカも、非常に危惧しています。この先の展開が、非常に興味深いです。

これがまず初めに起こった事で、そこからイランでの出来事に繋がります。

皆さんがご存知かどうか分かりませんが、テヘラン市内で数日間、暴動やデモが続いていて、それは現在も進行中です。しかも始まりは店主たちで、イラン経済の核となる人たちです。つまり、テヘラン中心部のバザールで、人々が国会に向かって行進し始め、それが初めて——よく聞いてくださいよ？——初めて、抗議している人たちが

「イスラエルに死を！」とか「アメリカに死を！」と言わず、

「パレスチナに死を！シリアに死を！」

と言っているのです！彼らは、実に、イランが自国民の世話をせず、パレスチナとシリアが彼らの資金を取っている、と非難しています。

はっきりと言っておきますが、イラク、イエメン、シリア、それと当然ガザでのイランの行動には、毎週3,000万~5,000万ドル近くかかっています。わたしの言っていることがお分かりですか？これらの何千万ドルというお金は、イランで使うことも出来たのです。



Figure 3 テヘランでの暴動を伝えるツイッター

ちなみに、イスラエル軍と、イスラエル政府は、イランの人たちに直接語りかけています。我々には、テレグラムのチャンネルやユーチューブチャンネルもあって、イランの政府が彼らに伝えない事を、私たちがイランの人たちに伝えているのです。そして彼らが、我々に敵対して連呼しないのを、初めて目にしました。

面白いのが、今、私はワールドカップを見ていますが、——事実、今はアルゼンチンが試合をしている真っ最中ですが、私は観ていません。ここで皆さんといますから——まあ、良いですよ。皆さんのことを許します（笑）。ともかく、イスラエルのテレビ局が、イランのファンの人たちにインタビューしたところ、彼ら全員が言ったのは

「ここにいる私たちは、イスラエルを愛しています。」

「皆さんが、テレビで観ている私たちの指導者たちの発言は、実際に一般の人たちが考えている事とは違います。」

彼らは本当にイスラエル人が大好きです。

ところで、イスラエル人もイランの人たちのことが大好きです。

イランは1979年まで、イスラエルの最大の味方だったのです。

イランは、イスラエルの EL-AL 航空の飛行機が定期便を持っていた、唯一のアラブ諸国でしたし、モサド（イスラエル諜報特務庁）は1979年まではテヘランに駐留していました。ですから、国民の間には素晴らしい友情があるのです。

悪いのは、政権だけです。

何十億ドルというお金を、自分たちの懐に取り込んでいる政権。

何千万ドルという資金が、概ねオバマから彼らに与えられました。面白いのが、今日、ロウハニー—の写真がツイッターで投稿されて、——彼が投稿したのではありませんが——彼の滞在先であるリゾートが、彼の写真を投稿しました。その中で、彼はカジュアルな格好をしていて、背後にはスキー場のリフトが映っていました。もちろん、今はシーズンではないので、スキーはしていませんが、山の上のリゾート地でした。

このように、自国民が今にも餓死しそうで、通りに出てデモを行なっているというのに、彼は綺麗な高級リゾ

ート地での生活を満喫しているのです！それが、写真が投稿されるや否や…その写真があったと思いますが…ありました！



Figure 4 リゾートを満喫している
ロウハニー大統領

これが彼の写真です。分かりますか？彼は、すぐ後ろにスキー用のリフトがあることを分かっていません。彼は、幸せそうです。ともかく、面白いことに、これを投稿した人が

「おっと。これはマズイ。」

と気付いて、すぐに取り下げました。

ということで、イラン国内のデモのために、イラン政権は解決策を模索するでしょう。そして、言いたくはありませんが、中東では、国民の目を自分たちの問題から逸らすためには、常に、戦争が一番の手段です。過去には、エジプトもそうでしたし、トルコともそうなるでしょう。それについては、この後お話ししますが。そして、イランも同様です。

ということで、イランの問題についてお話ししました。イランの人たちには、——彼らには経済が必要であることはもちろん、誇りと尊厳が必要であることも、理解しています。それから、イランのリアルがこれまでにないレベルまで暴落していることも、彼らは理解しています。失業率は急上昇していて、状況は非常に悪いです。

トランプ大統領が、つい先ほど、アメリカの同盟国に言いました。

11月までには、彼らの全員が、イランからの石油購入を停止するように。もしそれをしないなら、彼らもアメリカの制裁の対象となる。少なくとも、何らかの経済的ダメージを被ることになる。皆さん、もしイランから石油を買う者がいなくなれば、イラン政権は生き残りをかけて、大きく、大きく動き出すでしょう。彼らは、何をやるのだろうかと思います。ともかく、彼らには、分捕りもが必要です。それから、軍事的には、シーア派の目を見張るような標的と、このロシアやトルコが抱えているような、膨大な経済的必要とが、完全に織り交ぜられるでしょう。

次に、イランから聞いたことをもう一つ。

彼らは、サウジアラビアに向けて、1,000発のミサイルを発射する準備が出来ていると言います。ちなみにサウジは、2日前にまたリヤド上空で、新たに弾道ミサイルを迎撃しました。ほぼ、毎週のようにイエメンのフーシ派がリヤドに向けて、ロケットを発射しています。サウジが、フーシ派の中から人質を取ったら、実際には彼らは、レバノンのヒズボラの人間だったそうです。これで、彼らが既に知っていたことが確認されました。イランの指紋が、いたる所にあるということです。

さて、ここからがこのアップデートの目的です。

もちろん、後ほどトルコについてもお話しますが。

今回のアップデートの目的は、これから発表されるトランプ大統領の中東和平案です。この数週間、特にここ2、3日の間に、我々が目にしたのは、地域全体で持たれた、前代未聞の数の会合です。アメリカの高官たちと、イスラエルの高官たちと、サウジの高官たち、つまり、サウジ、ヨルダン、エジプト、クウェート、バー

レーン、アラブ首長国連邦を含む会合で、当然イスラエルとアメリカは、この全てに関わっています。

私たちが現在目にしているのは、サウジがイランを潰すための動きです。

イランは、彼らの最大の問題ですから。

サウジは一步前進して、イスラエルとの同盟を確立しました。

それから、彼らの寛大さをもって、ヨルダンとエジプトを説得し、彼らと同盟を組んで、これに加わるようにしました。

皆さん、数日前、ネタニヤフはヨルダンの王と会談をしました。

現在、ヨルダンの王がワシントンにいるのも、これで納得ですね？

現在の全体像を見てください。

ということで、皇太子が——ちなみに、4月に彼の暗殺未遂があったために、多くの人が、彼は死んだと思っています。皇太子は、アメリカから戻ってすぐに、イランに雇われていた暗殺者に襲撃されました。神に感謝な事に、彼に怪我はありませんでしたが、2か月近く姿を見せなかったために、「彼が死んだ」という噂が回って、おそらく彼の「葬儀」であろう動画も、私は観ました。もちろん、彼は死んでいませんし、それだけではなく、モスクワで開催されたワールドカップの開会式に姿を見せました。ですから彼は生きています。



Figure 5

6月14日モスクワでプーチン大統領
と握手するムハンマド皇太子

彼——ムハンマド・ビン・サルマーンは生きてだけでなく、先週、ヨルダンのアンマンでネタニヤフ首相と一対一で会っています。彼らは一体何を話したのか？

サウジの皇太子は——王はある種象徴的な存在なので、実際に動かしているのは、ムハンマド・ビン・サルマーンです。その彼が、イスラエルの首相と会ったのです。そこで、トランプ大統領がずっと語り続けて来た、壮大な協議ですが、——皆さん、ご存知の通り、ここまでトランプ大統領は

選挙公約の一つ一つを果たしてきました。そして、その中の一つが、彼の言う「究極の協定」です。そこで、この「究極の協定」とは一体何なのかをご説明します。

長年にわたって、彼らが吹き込んできた嘘は、

「パレスチナとの平和がない限り、つまり、彼らにもっとももっとも土地を与えない限り、我々は、スンニ派アラブ界との和平協議を享受することは絶対に出来ない。」

というもので、彼らは私たちにそう言って来たのです。もしイスラエルが、他のスンニ界で受け入れられたいのなら、まずはパレスチナに対処しなければならない、と。

そこへ登場したトランプ大統領は、ネタニヤフ首相の主張を聞いた後、

「我々はそれを逆にしよう」

と言いました。パレスチナとの平和を達成するために、我々は全てを逆にする。

そして、政治的でなく、財政的、経済的な和平を地域一帯に作り出し、パレスチナがもっと柔軟になり、彼らに提示される条件を受け入れるように持って行こう。

皆さん、イスラエル国内の領土そのものは一切関係なく、3つの大きな事が計画されています。

まず、パレスチナ人のための港を、キプロスに開港します。現在、このニュースは広く伝えられています。それから、イスラエル国内のハイファ港から西岸地区を通して、はるかヨルダンとサウジアラビアまで、基本的にはサウジアラビアとイスラエルを繋げて、鉄道の線路を引きます。新しい線路、路線を造って、ハイファ、

地中海まで結び、今後チラン海峡（書記注：アカバ湾〈シナイ半島とサウジアラビアの間の湾〉と紅海の境界にある海峡）やホルムズ海峡といった、イランが支配する海峡に頼らなくても良いようにします。イスラエルから、はるかサウジアラビアまで陸橋を造って、イランやイランの代理を迂回します。非常に興味深いですね。



Figure 6 中東の地図

最後、アメリカと、それからサウジも、何十億ドルという資金を投資して、ガザの人たちが働いて良い生活が出来るよう、商業地区を作ります。

場所は？——シナイ半島、エジプトの領土内です。

つまり、エジプトは領土を提供し、サウジとヨルダン は自分たちの分を担い、キプロスもまた別のことを行います。現在、国際的な動きを生み出して、パレスチナの人たちのために、活性化と繁栄をもたらそうとしているのです。

20年、30年、40年、50年…70年と小さな土地を巡って言い争うのではなく、良い生活を手に入れないかと。

パレスチナは、ショックを受け、恐怖におののいています。

その理由は、前回のアップデート（6月19日）で、皆さんにお伝えしましたが、彼らの最大の計画は、イスラエルにエルサレムを諦めさせて、壁やフェンスを解体し、それによってイスラエルを終わらせることです。イスラエルを消すことが、彼らの最大の計画であって、エルサレムはただの口実にすぎません。エルサレムに対する“宗教的な”感情を使って、エルサレムに入り、そこからイスラエルを終わらせよう、と。

そこへ、トランプ大統領が登場して言います。

「エルサレムは、もう、論外だ。これはイスラエルの首都なのだ。さあ、次に進もうじゃないか。エルサレムから、さほどおくない場所を、あなたがたの首都として与えよう。ユダヤ人はどこからも撤退しない。全て、現状のまま維持する。あなたがたは、あなたがたのいる所に留まり、彼らは彼らの住んでいる所に住む。そして、『経済的和平』を生み出すのだ。『国境』という概念は捨てよう。今私たちは、あなたがたの、より良い現在と将来を望んでいる。」

ここで、パレスチナが「No」と言えば…彼らは、そのつもりです。

彼らは、トランプとも、彼の使節とも話をしたくありませんから。

もし彼らが拒絶すれば、基本的には彼らは、アメリカに対して「No」と言い、

サウジアラビアに「No」と言い、

エジプト、ヨルダン、アラブ首長国連邦、バーレーンに対して「No」と言うことになるのです。

面白いことに、彼らは既にそれを理解しています。

エルドアンが、トルコでの不正選挙で当選した時に、真っ先に祝辞を伝えたのは、ハマスとファタハ、パレスチナですから。

ここだけが唯一、未だにイスラエルに敵対していて、自分たちの味方であることを、彼らは理解しているからです。彼らは自分たちが、現在の中東で全ての支援を失ったことを理解しています。

これが現在起こっている、物凄い事です。

和平案は、イスラエルの安全を脅かすものではありません。ベニヤミン・ネタニヤフは既に言いました。

「この計画の中で、我々の要求は全て満たされている。これはパレスチナの人たちに、仕事と繁栄をもたらし、彼らの人生を改善する壮大な計画だ。彼らの人生が良くなれば、私たちは前進できる。彼らがテロ行為を捨てれば、私たちは前進してもっと多くのことを話し合える。しかし、あなたがたが私を滅ぼすなら、もしくは私を滅ぼすことについて、あなたが日夜語るなら、あなたと話し合うことは何もない。誰も話をする者などいない。」

これが、基本的な問題です。

私はずっと同じことを言ってきましたが、パレスチナ問題がイスラエルの存続の脅威だとは、私は一度も考えたことがありません。ガザから飛んで来る、嵐や何かに対しては、我々に対応しかねていますよ。イスラエルの土地を、広範囲にわたって燃やすような嵐を、飛ばすように命じられている7歳の子どもを撃てますか？私たちはどうすればよいのか？私たちにとって、これは脅威というではありません。考えてみてください。彼らは鬱憤が溜まっていて、その全鬱憤を我々にぶつけているのです。我々が彼らに望むのは、ただ、良い暮らしを送ってほしい。それだけです。

ハマスは、もう既に言っています。

「我々は、キプロスの港は絶対に受け入れない！我々は一切何も受け入れない！」

しかし、自分たちが「否」と言うことは、イスラエルがずっと言い続けてきたこと、彼らは本当には平和を望んでいないというのが正しかったことを、世に対して証明することになると、彼らは理解しているのです。ですから、パレスチナは現在、追い詰められているのです。この先の展開が楽しみです。

ジャレッド・クシュナーが言ったのは、

「パレスチナが合意しようがしなかりょうが、アメリカは和平案の目的を、全世界に分かるように公表する。」
ですから、これは非常に面白いことになるでしょう。

次に、今、これらについて全てお話しましたが、皆さん、なぜ、私はこんな話をしているかと思いませんか？サウジアラビアは、イスラエルを同盟国として公式に認識し、イスラエルと国交を持ちます。サウジは反対側に寝返ったのです。今、彼らはイスラエルの味方です。サウジは、イスラエルに敵対する者全てを批判します。サウジは、イスラエルが彼らの味方であることを理解していますから。現在、サウジには、イスラエルの助けなくしてイランに勝つチャンスはなく、彼らはそれを理解しています。だから彼らは我々の味方であり、それが彼らが背負っている“ロコモティブ”、ヨルダン、エジプト、バーレーン、アラブ首長国連邦もそうです。だからこれはすごい事なのです。このようなものは、今まで一度も見たことがありません。

サウジの皇太子が、イスラエルの首相と一対一で会談して、非常に多くの問題に対処するため、地域に何十億ドルもの資金を約束する協定について話をすると！サウジは、トランプの中東における究極の協定の中で、重要な役目を担うことで、イランを彼らの背後から取り去り、悪の枢軸をすべて打ち負かせるなら、今の時点では、どんな事でもします。非常に興味深いですね。

さて、こう話すと、多くの方が私に言います。

「アミールさん、トランプが中東に平和をもたらすなら、きっと彼が反キリストなんだろう？聖書には、反キリストが契約を結ぶとか、確証する、と書いてあるから。」

一つ、ご説明します。

すでにインターネットでお伝えしましたが、もう一度言わせていただきます。

現在、イスラエルとパレスチナの間に、和平協議は存在しません。

ダニエルは非常に興味深いことを言っています。

まず第一にダニエルは、西暦70年に神殿を崩壊した敵が出たのと同じ地域について語っています。その同じ場所から、同じタイプの支配者か皇帝が興って、——皆さんの聖書には、契約を「confirm/確認する」（日本語聖書では「結ぶ」）と書いてあるでしょう。ヘブル語の聖書では、ダニエル書9章27節には「confirm/確認する」とは書かれていません。そんなものは、ありません。ヘブル語では「יגביר/hig-bir」で、יגביר/higbirの意味は「増大する」とか「さらに壮観に」とか「もっと素晴らしく」です。それが、この意味です。協定はあります。しかしその後興る者が、それをさらに壮大に、さらに大きくする、ここはそういうことです。これは何かを確認することではなくて、彼はそれを、さらに目を見張るようなものにするのです。

ですから、トランプの和平協定が経済的な繁栄をもたらし、地域に、経済的な「歓喜」をもたらすとすれば、反キリストは何をもたらすと思いますか？

彼は、このように言いますよ。

「よし。あなたがたはエルサレムを得た。それから、繁栄も手にしている。私はあなたがたに神殿を与えよう。」

「私がここに提供するの、ただの経済的なものではなく、霊的なものだ。私は、あなたがたがずっと望んできた通りのやり方で、あなたがたが、あなたがたの神を礼拝できるようにしよう。」

それから後になって、彼は言うのです。

「私が神だ。」

ただ、考えてみてください。

ヘブル語のיגביר/hig-birという言葉の意味は、そこにあるものを「強める」「増大させる」です。

ですから、トランプ大統領の和平案が中東に提案される、と聞くと——ところで私は、これが上手く行く確率もかなりあると思っていますよ。ですから、後に反キリストが「増大する」ためには、これは存在しなければならない、と私は見えています。そしてそれをさらに壮大なものにします。これら全てを目的しているとは、本当に興味深いです。ですから、ダニエル書9章27節で言えば、これは、現在の和平協定ではありません。

確かに、彼らは「平安だ。繁栄だ。」と言いますよ。

確かに、第一テサロニケにある通り、エゼキエル戦争が起こり、突然の滅びが彼らを襲います。もちろん、私たちはここから連れ去られます。そして、私たちがここからいなくなると、反キリストが平和をもたらし、さらに、それを素晴らしいものとしめます。

そうです。それは私も理解しています。

ただ、私はこの平安が長く続くとは思っていません。

今が「嵐の前の静けさ」だと言っているのは、この私ですから。

ただ、私が言っているのは、後に、大戦争の後、誰かがさらに素晴らしいものにするためには、今、和平協定が必要なのです。

それも、ただ「エルサレムはあなたがたのものだ」というのではなく、

「神殿の丘があなたがたのものだ」

「神殿を建てることを認める」

これが、さらに壮大なもの、さらにずっと目を見張るようなものですよ。

その時、確実に、それが反キリストだと分かるのです。

ということで、今、私たちが話しているのは、経済的な協定、これが、トランプ大統領が「究極の協定」の核

として推し進めているもので、シナイ半島内で、ガザの人たちを雇う巨大な地帯、それから、多くの西岸地区の人たちが、電車の乗車を満喫出来る線路、いつかそれが実現すれば良いなと思います。我々はサウジとヨルダンと、その協定に調印したのです。ハイファからはるばるエズレル平野を通過してヨルダン、そしてそこからサウジアラビアまで続きます。物凄く面白いです。また、それによってヨルダンは、イスラエルと他のアラブ界を結ぶ“セントラルハブ”（中心拠点地）となるのです。

考えてみてください。ヨルダンは何と言いますか…イランやトルコの方に傾いて浮気をした時、大変な思いをしましたが、あの浮気はもう終わりました。彼らは、それではサウジから一切の援助を受けられないと気付いて、彼らの帰属集団に戻って来て、今、サウジと彼らは再び、大の友好国です。



Figure 7 アブドゥラ ヨルダン国王夫妻を迎える
トランプ米大統領夫妻

サウジの皇太子が、ヨルダンまではるばるやって来て、ヨルダンが軌道に留まるようクギを刺し、そこにネタニヤフが登場して、彼らはトランプ大統領の「究極の協定」の非常に重要な要因をまとめました。ところで、そのためにヨルダンの王が王妃を伴って、はるばるホワイトハウスまでやって来たのです。そしてその場でトランプ大統領は、全世界に向かって言いました。「中東和平案に向けて、大きく進展した。」

皆さん、全ての事が物凄い形でまとまって来ています。

最後に皆さんにお伝えしたいのは、トルコで行われた選挙について。

皆さんご存知の通り、不正があったのは間違いありません。なぜなら、票が半数数えられたところで、本当の報道では、エルドアンが48%。しかし、政府の報告では、エルドアンが58%。これが最後までずっと続いて、常に10%水増しされていたのです。エルドアンが負けるなんて、我々は一瞬たりとも考えませんでした。

皆さんご存知の通り、私は、プーチンが“ゴグ”だろうとっていて、同じようにエルドアンは、今日のトルコ、ゴメルとトガルマの指導者だと思っています。



Figure 8 “再選”されたエルドアン トルコ大統領

私は、彼がこれまで以上に危険だと思っています。今、彼は、これまでよりもはるかに強力な権力を得ているからです。彼は、正式に“スルタン”になりますよ。その理由は、今回の選挙で、彼はこれまで以上に力を得て、——彼は、首相という立場を完全に廃止して、大統領が最も権力を握ります。そして彼は、あらゆる場で、——軍事的にも、司法的にも、立法上も、——自らを最も権力を持つ高官として選びます。基本的に、独裁者の誕生です。

これがまだ公式でないなら、来週か来月には、公式になるでしょう。

トルコのリラは、今日、少し強くなりました。彼にはもはや、ぐらつきがありませんから。選挙があって、彼はそこにいますから。

しかし一旦、歓喜が落ち着けば、続けて暴落します。

エルドアンにはお金が必要です。さらにエルドアンは、オスマン帝国を復活させたいのです。彼はそれを、ずっと言い続けています。そしてスーダン国内のトルコ駐留も含めて、彼はそれに向けて対策を講じています。

ちなみにスーダンも、イスラエルに敵対するエゼキエル 38 章の同盟国の一部です。

このように、今、トルコが我々に攻めて来る大統領を確認したのは、非常に興味深いです。ロシアは、彼らの大統領を数週間前に確認しました。

それから、素晴らしい究極の協定が現在整いつつあり、その詳細が、皆さん全員に公表されます。私が今、皆さんにお伝えしたのは、はるかに大きな図の、ほんの一部に過ぎません。それから、多くのパレスチナ人たちが激怒し、混乱するでしょう。彼らには想像も出来ないのです。ほんの 2 年前、彼らは全てを差し出されたのに、それに対して「否」と言い、それが今回は半分だけを差し出されて、それに対して「可」と言わなければならないのです。面白いことになるでしょう。もし彼らが「否」と言えば、ものごとは戦争に向かって加速するでしょうし、もし彼らが「可」と言えば、嵐の前の静けさが、少しだけ長くなるかもしれません。ただ一つ確かなのは、サウジはイスラエルの敵であったところから、イスラエルの味方へと、完全に移行しました。エゼキエル 38 章が告げている通りです。

面白く、ビックリです。

そこで皆さんに、私からチャレンジです。

私はいつも、「神は、二つの軌道で動いておられる」と伝えています。

主が、すでに記録された通りの世界情勢の軌道。神は、すでに預言者を通して告げられました。エゼキエルが告げていることは、何であれ昨日の新聞よりもはるかに正確です。

しかし同時に、あなたの人生の軌道があって、それはあなたの決断次第です。

あなたが神を選ぶかどうか、主を選ぶかどうか、主の道を歩むかどうか。

そして、全世界の壮大な計画が起こる時のあなたの居場所は、あなたの決断によって決まります。あなたがもしキリストを選ぶなら、実に間もなく、あなたはここを去ります。しかしもし、あなたがそれを選ばないなら、大きな確率であなたはここにおいて、恐ろしい戦争や、恐ろしい世界的指導者の下で、苦しむことになるでしょう。彼は実に狡猾で、あなたのことを洗脳します。そしてあなたは、神に関する理解や全てを完全に失って終わり。あなたは、彼の手中に陥ります。

あなたが、神を理解し、悔い改めるなら、今です。

使徒の働きで主が告げておられるように、

17 …今は、どこでもすべての人に悔い改めを命じておられます。

(使徒の働き 17:30b)

今が、その時です。

ですから、最後に皆さんを励ましたいと思います。皆さん、真剣に受け止めましょう。もう、終わりです。今は「Last Hour/終わりの時」です。だから私は本のタイトルを「The Last Hour/終わりの時」としたのです。第一ヨハネにある言葉を信じています。

18 小さい者たちよ。今は終わりの時です。

(第一ヨハネ 2:18a)

皆さん、ゴールが見えています。

今こそ、城壁の見張り人になる時です。今は、眠る時ではありません。

教会の最大の危険は、眠ってしまうことです。

眠ってしまう一番の原因は、

- ① 世界中で起こっていることを見失う。
- ② 神の御言葉を読まず、祈る事をしないで、神との交わりを持たない。

この二つの要素ですよ。

私たちは御言葉を読み、祈り、そこに留まらなければなりません。そうすれば、世の中で起こっていることについて、聖霊が、聖書の観点から全てを説明してくれます。

それが、理解することをあなたが選ばないなら、あなたが世に流される方を選ぶなら、世と戯れることを選ぶなら、その時、あなたは完全に洗脳されます。一旦洗脳されてしまえば、簡単な方へなびいて行きます。しかし、私たち神の人、

17 御霊も花嫁も言う。「来てください。」

(黙示録 22:17a)

私たちは主に来てほしいと願い、私たちは彼の現れを慕い、そして、私たちは大胆に、世に福音を伝えなければなりません。そして私たちは、世に警告を与え、城壁の見張り番でいなければなりません。

以上です。いくつかの、非常に興味深いことについてお話ししました。今がどれほど終わりが近いか、皆さんが理解されたことを願います。

皆さんにもう一度お知らせします。2019年の「Bible Experience/聖書体験イスラエルツアー」の申し込み受け付けを開始しました。私たちと共にイスラエルを訪れたいと思われる方は、BeholdIsrael.orgを訪れて、ご登録ください。

もう一つ、皆さんに再度お伝えしますが、先日お話しした奨学金の対象は、18歳~28歳の若者だけです。もう既に、何百通という数の申し込みが届いていますので、今の時点ではこれ以上お受けすることは出来ません。ツアーに関する詳細は、ウェブサイトをご覧ください。BeholdIsrael.orgです。

数日のうちに、またヨーロッパのツアーに出かけます。その後、“大ツアー”が始まります。

シンガポール、日本、オーストラリア、ニュージーランドです。非常に長く、非常に過密なツアーになりますので、どうかお祈りいただければと思います。フライトがスムーズに行くように、それからもちろん、メッセージを通して、聖霊が働いてくださるように。ところで、お祈りいただく際には、フライトもとても重要です。酷い腰痛に悩まされていて、おそらく、頻りに長時間飛行機に乗ることも原因だと思っています。ですから、それについてもお祈りいただければと思います。

皆さん、いろいろとありがとうございました。では、アロンの祝福で終わりにしましょう。

ヴェイシエメレハー וְיִשְׁמְרֶךָ ..(主が)あなたを守られますように	アドナーイ יְהוָה 主が	イェヴァーレフハー יְבַרְכֶךָ あなたを祝福し
--	-----------------------	------------------------------------

ヴィーフネッカー וְיִתְנֶךָ ..(主が)あなたを恵まれますように	エーレーハー אֵלֶיךָ あなたに(向けて)	パーナーヴ פָּנֶיךָ 御顔を	アドナーイ יְהוָה 主が	ヤーエール יָאֵר 照らし
--	--------------------------------	--------------------------	-----------------------	-----------------------

シャーローム שְׁלוֹמְךָ 平安を	レハー לְךָ あなたに	ヴェヤーセーム וְיִשֶׁם (主が)賜るように	エーレーハー אֵלֶיךָ あなたに(向けて)	パーナーヴ פָּנֶיךָ 御顔を	アドナーイ יְהוָה 主が	イッサー יִשָּׂא 上げて
-----------------------------	---------------------	----------------------------------	--------------------------------	--------------------------	-----------------------	------------------------

(引用：牧師の書齋 <http://meigata-bokushin.secret.jp/>)

※ 連続して発音する場合は以下

イェヴァーレフハー アドナーイ ヴェイシエメレハー
 ヤーエール アドナーイ パーナーヴ エーレーハー ヴィーフネッカー
 イッサー アドナーイ パーナーヴ エーレーハー ヴェヤーセーム レハー シャーローム

- 24 主があなたを祝福し、あなたを守られますように。
- 25 主が御顔をあなたに照らし、あなたを恵まれますように。
- 26 主が御顔をあなたに向け、あなたに平安を与えられますように。

(民数記 6:24~26)

シャローム。多くの人が、この平安を持っていません。しかし、あなたは、私たちの理解をはるかに超える平安を与えてくださいます。ですから主が、私たちの理解をはるかに超える平安を与えてくださいますように。唯一、平和の君、平和の主によってのみ与えられる平安を、この世の患難や問題のただ中にあっても、あなたに与えられますように。

イエスの御名によって。

アーメン！

アーメン！ありがとうございます。I love you! God bless you!

どうか、私たちのためにお祈りください。ありがとうございます。

ガリラヤより、God bless you! シャローム！さようなら。

メッセージ by Amir Tsarfati/Behold Israel : <http://beholdisrael.org/>

【写真出典一覧】

イスラエルの戦闘機 : Behold Israel “Syria reports Israeli strikes In Damascus” 27th June, 2018

リーベルマン イスラエル国防大臣 : Wikipedia 「アヴィグドール・リーベルマン」

マティス米国防長官 : Wikipedia 「ジェームズ・マティス」

テヘランでの暴動を伝えるツイッター : MEMRI 「テヘランでの抗議の叫び : 我々の敵はまさにここにいる ! アメリカは我々の敵ではない ! ガザへの、レバノンへの援助を止めよ ! 」 2018. 6. 27

リゾートを満喫するロウハニー大統領 : Facebook Gplanet fans page 2018. 6. 27

6月14日、モスクワでプーチン大統領と握手するムハンマド皇太子 : 時事ドットコム 「ロ大統領『W杯外交』展開＝欧米首脳は欠席」 2018. 6. 15

中東の地図 : Yahoo!地図

ヘブル語の表記 : SayHi translate

アブドゥラ ヨルダン国王夫妻を迎えるトランプ米大統領夫妻 : You Tube VOA NEWS “Trump Welcomes Jordan King to White House” 2018. 6. 25

“再選”されたエルドアン トルコ大統領 : Aljazeera.com “Erdogan wins re-election in historic Turkey polls” 25 June, 2018